

謹賀新年平成23年

あけましておめでとうございます



町長 新ひだか 芳秀
新ひだか 酒井

町民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

皆さまにおかれましては、平成二十三年の新春をご家族おそろいで健やかに迎えることと拝察いたし、心からお慶び申し上げますとともに、日ごろより町政執行に對しまして、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、本町にとつては大規模な自然災害もなく、比較的平穏な一年であったと思えますが、四月に宮崎県で発生しました口蹄疫の影響によりまして、皆さまが楽しみにしていた「みついし蓬萊山まつり」「新ひだか夏まつり」を中止せざるを得ないという苦渋の選択となったことは残念な思いでございます。本年は新ひだか町誕生五周年という年でもございますので、より充実したイベントを開催したいと考えております。

明るい話題としては、本町出身の佐々木舞さんが第十六回アジア競技大会ソフトテニス競技において、女子団体初の金メダル獲得に大きく貢献されることも

に、ダブルスにおいても銅メダルを獲得するなどその活躍は見事であり、町民の誇りであります。

また、競馬界では、史上最強牝馬といわれたウオッカ号が引退し、菊花賞馬スリーローズ号の事故などにより、本町生産馬のG1での活躍は期待薄と思われるおりましたが、ビッグウェイク号が並み居る強敵を抑え菊花賞を制し、中山グランドジャンプではメルシーモンサン号が接戦を制し、統一G1のJBCクラシックではスマートファルコン号が圧勝するなど、新たなスターホースの誕生となりました。

さらに、正念場を迎えておりましたホッカイドウ競馬については、無料応援バスの運行、Aiba祭の実施など町民皆さまのご協力のおかげをもちまして、存続が決定したところでありまして、重ねてお礼を申し上げますとともに、今後とも産地競馬の魅力を活用し盛り上げていくことが重要と考えておりますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

さて、国内経済を見ますと、政府によります経済・金融政策が進められておりますが、足踏み状態が続く、失業率も高水準となっており先行きは不透明で、地方経済においてもまた同様に低迷が続

町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちあふれる輝かしい新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年の四月、有権者の皆さまの厳しい審判をいただきました私ども、二十二名が町議会を構成いたしました。図らずも議長に選任された私は、議場で次のようなあいさつをいたしました。

「地方分権の時代を迎えて、地方公共団体の自主的な決定と責任の範囲が拡大した今日、議会はその持つ機能を十分に駆使し、行政監視の強化と政策提言を積極的に行うと共に民主主義を基本とする町民の代表機関であることを再認識し、公平性、透明性、信頼性を重視して、情報の公開と町民参加を原則とし、町民に開かれた議会を目指します。その推進にあたっては、二十二名の議員の絆を深め、私は「チーム議会」として、全員で事にあたり、所期の目的を達成すべきものと考えます」

あれから八か月、議会はまず、町民と共に歩む「三つの宣言」を決議しました。その一つは、交通事故をなくすためには、町民一人ひとりが交通ルールを守ること、交通安全を常に心がけること、思いやりのある交通マナーを実践することが必要です。ここに新ひだか町は「交通事故のない安心・安全なまち」を目指すことを宣言しました。

その二は、暴力や犯罪のない明るく住み良いまちを築くことが、新ひだか町民の願いです。地域住民が一体となって自主防犯意識を高め、防犯運動を通じ、全町民と共に「安全・安心で明るく住み良いまちづくり」に努めることを宣言しました。その三は、世界の恒久平和は全世界・人類の願いであるとともに、新ひだか町民の悲願でもあります。美しい郷土を守り、

き、皆さま一人ひとりの生活に悪化懸念が依然として残っております。こうした中で、不況にあえく町内経済の活性化を図る目的で、三年連続の地域商品券の発行、多業種に及ぶ公共事業など臨時経済対策を積極的に実施してきたところであります。

本町の基幹産業であります第一次産業につきましては、農業は、全道的に夏前の低温多湿、夏場の猛暑という天候の影響から収穫量及び出荷量は前年を下回っているものの、全国的な価格高騰を受け出荷額においては好調なものが多く、中でもミニトマトは出荷額が六億八千万円余りとなり過去最高を記録しております。また、新ひだかブランドとして定着している黒毛和牛「みついし牛」は、景気低迷の影響から出荷数は前年並みであるものの販売金額が前年と比較し下回っている一方、育成牛の出荷頭数及び販売金額はともに、前年より大幅に増加しております。

軽種馬産業においては、国内景気が低迷する中「北海道市場」は売却頭数、売却率及び売却総額とも前年を上回り、特に売却総額は三年ぶりに五十億円を突破する健闘をみせました。

豊かで幸せな暮らしを子孫に伝えるために、非核三原則の堅持と恒久平和の実現をここに誓い、明るく住みよい町民生活を守る決意を表明し「核兵器廃絶・平和の町」であることを宣言しました。迎えた新年も町政や町民生活をとりまく状況は極めて厳しいものがありますが、私共は町民一体となって着実に乗り越えていかなければなりません。今、北海道には一四四の町と村がありますが、わが新ひだか町は、人口、世帯数、面積、予算規模、議員定数のいずれも上位五番以内には位置しています。

よく当町は「日高管内の中核都市である」といわれてきましたが、私は今や北海道の町・村の先進的役割を担っている町だと確信しております。そのために、行政・議会・町民が共通の認識に立つてその使命を積極的に果たさなければなりません。限られた町予算ではありますが「まちの将来像」として策定しております「総合計画」を基本に据えながら「産業振興と経済活性化の推進」「教育・文化・スポーツ関連施策の推進」「福祉・医療・生活環境施策の推進」を行政側の執行状況を注視しながら、共に政策提言を行い、町民一人ひとりが「町政の主役」としてまちづくりに参画し、わが胸に誇りが持てる「ふるさと新ひだか町」にするために議会の果たすべき役割を着実に進める所存でございます。

私たち議員は常に研鑽を積み重ねなければなりません。昨年は全道議員研修会や広報研修会への参加、各常任委員会の他市町への視察調査研修の実施と報告書の作成・配布、他町議会の視察受け入れ、懇談の実施、町内現地調査など数多く実施しましたが本年もさらに有意義なものになるように努めてまいります。また、町民の皆

漁業においては、海水温が高かったことが要因となり、沿岸に回帰しなかったことから、「昨年豊漁であったイカは前年比七割減、サケは五割減となり、漁獲量全体としても四割減となっており、生産額においても三割減という厳しい結果となりました。

さて、本年は、新町誕生五周年となり、私も町民皆さまのご支援ご支持をいただき、昨年四月から第二期の町政をお預かりすることとなりましたが、合併後の四年間は皆さまのご理解とご協力の下、痛みを分かち合っていたいただきながら財政健全化に努めてまいりました結果、徐々に明るい展望が開けてきております。引き続き財政の健全性を保持しながら、合併の効果を最大限に活かし、「守り」から「攻め」に転じる時代と考えており、夏は涼しく、冬は雪が少ない過ごしやすい町「涼夏少雪の郷」の特性を十分活かしながら全力を挙げて取り組む所存でございます。

最後になりますが、本年も昨年同様、町政に對するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

本会議は定例会として、三月・六月・九月・十二月に開催され、緊急を要する時は臨時会を随時開催しています。議会は公開性ですので、どなたでも傍聴することができ、今までも毎回、数人のグループ、あるいは団体で来てくださっております。また、町内施設（※）でも議会の生中継をしており、また、議事録を町の公式ホームページの中にある「議会のページ」で閲覧できますので、ぜひご覧下さい。「議会だより」においても、「議会の活動」姿が町民に見える「紙面作り」を目指して、一層の充実にも努めてまいります。昨年は次代を担う青少年がスポーツや文化活動で、全道・全国を舞台に活躍してくれました。本年もその期待に胸が躍ります。結びになりますが、町民の皆さまにはより一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げますと共に、皆さまのご多幸をお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。



新ひだか町議会議長 五十嵐 敏明

※議会議中継施設/ピュアプラザ、町観光情報センターぼっぼ、みついしふれあいプラザ、町福祉センター